

## これからの行政支援サービスの充実に向けた図書館の取組案

図書館は、行政支援サービスの充実について、各課等への図書館サービスの周知及び基盤整備を図るため、豊中市行財政再建対策室及び政策企画部情報政策室等と連携し、職員向けの研修の実施及び庁内 LAN を活用した図書の新着リスト等の情報発信を行なっていく。

このことよって、レファレンスその他の図書館サービスについて、当該サービスを利用する文化を庁内に構築し、そして職員に認知してもらい、図書館の資料を活かした各課等の施策の支援を通じて、さらなる市民サービスの向上につなげていくことをめざすものである。

### ① 職員への研修

図書館職員が講師となって、課題の調査方法、情報の取扱い方等の話を行う。自ら学ぶ力へのきっかけにもなる。

例 テーマ：“その情報はどこから？（図書館活用法Ⅰ）”

目的：学習風土づくりから基礎的な情報収集まで

内容：何をどのように調べればいいのか？、図書館の利用方法、所蔵資料の紹介、図書館のホームページからの資料検索、本やインターネットなどを使っての簡単な情報検索方法など

例 テーマ：“情報を使いこなす（図書館活用法Ⅱ）”

目的：情報収集からその活用まで

内容：情報の種類と特徴、さらに詳しい情報検索方法の紹介、取得した情報の取扱い方（著作権法とのかかわり）、レファレンスサービス（調査代行サービス）の利用など

### ② 庁内wikiの活用

庁内に仕事を応援するためのポータルサイトを開設する。

自ら学ぶことへのきっかけづくりあるいは研修後のレベルアップとして、また将来的には情報の共有も目的とし、職員への利用促進を図る。

<wikiの内容>

ア. “新着リスト”・・・テーマ別で月ごとに本のデータやリストを提供する。リストには、各課部局に関係するようなテーマやキャリアアップ・スキルアップのための本など、業務や自己学習に役立てられるような本を集めている。

イ. “新聞記事見出し検索”・・・1988（昭和63）年以降の豊中市に  
関係する記事の見出し検索が可能。申込みをすると本文も提供でき  
る。

ウ. “e-レファレンス（e-mailによる調査代行サービス）”・・・  
これまで電話やFAXを使用していた図書館への調査の依頼もe-  
mailで簡単にできる。また、e-レファレンスはそれまでに行  
った調査結果も公開するため、各課部局の共通する調査等につい  
ては、ここで即時回答を得られることが可能となる。

③ その他のバックアップ体制

自ら学ぶ力の継続への支援として、図書館が持っている機能を最大限使っ  
て提供する。

ア. 豊中市内にない本については、国立国会図書館、他市・他の都道府県  
立図書館、大学図書館からも取り寄せを行う。

イ. 学術論文等も所蔵している大学図書館等に依頼し、複写を取り寄せる。

ウ. 市内だけでは調査困難な情報に関しては、国立国会図書館、府立図書  
館、他機関等にも依頼を行う。